

2025年度(令和 7年度)第22回北海道支部定時総会

報告・議案資料

1. 2024年度事業決算報告	1
2. 監査報告書	2
3. 2025年度 事業計画・予算報告	3
4. 各部別 2024年度事業報告及び 2025年度事業計画	4～11
5. 第1号議案	12
6. 第三次中期3カ年計画の進捗状況	13～15

<2024年度 事業総括>

・第三次中期3カ年計画の重点目標「魅力ある会員組織となるために、本部支部の枠を超えて課題を共有し連携して行動する！」の通り、支部育成システムに則り認定・研鑽を積んだ会員が、本部受託の事業を担当、経験と活動の場が広がる一方で、支部独自の入札案件や企業契約では、価格競争の激化や多様化するニーズに対応するカウンセラーの不足等、長年の課題である需要と供給のバランスの難しさが浮き彫りとなる一年であった。

・協会の財政立て直しを最優先課題とした全国的な取組の中で、これまでの経費削減のみに頼らず収益改善に向け支部全体で課題を共有し検討、具体的な課題解決に取組み、合意形成による支部運営体制の再確認ができた。

・産業カウンセラー養成講座やキャリアコンサルタント養成講習受講を入り口として、研修やカウンセリング契約につながるケース、研修やカウンセリングで出会った産業カウンセラーに魅力を感じて講座を受講する等、当支部が目指している地域に根ざした循環型の広がりを感じられる一年でもあったので、今後も一つ一つの事案に丁寧に対応するために、多様化するニーズに対して柔軟に対応できるスキルの蓄積と共有が急がれる。

2024年度実績

科 目	2024年度予算(A)	2024年度 実績(B)	増減(B)-(A)
経常収益			
I 受取会費	2,020,000	1,843,000	-177,000
1)個人会費還付金	1,370,000	1,303,000	-67,000
2)賛助会費還付金	650,000	540,000	-110,000
II 認定試験受験料等収益	629,000	515,897	-113,103
III 事業収益	45,544,720	35,658,850	-9,885,870
1)養成講座収益	10,588,020	6,601,125	-3,986,895
3)実技指導者育成収益	160,000	154,000	-6,000
4)キャリア講座収益	7,945,800	7,252,450	-693,350
5)シニアコース講座収益	417,000	0	-417,000
6)会員研修・講座収益	1,164,900	432,300	-732,600
7)普及事業収益	22,759,000	18,898,485	-3,860,515
8)相談事業収益	2,510,000	2,320,490	-189,510
IV 雑収益	10,000	37,773	27,773
1)受取利息	0	2,039	2,039
2)雑収益	10,000	35,734	25,734
V 組織強化費収益	5,040,000	5,301,762	261,762
1)事務長給与補助収益	2,400,000	2,400,000	0
2)事務員補助収益	1,440,000	1,440,000	0
3)社会保険補助収益	900,000	867,789	-32,211
5)その他	300,000	593,973	293,973
経常収益合計 A	53,243,720	43,357,282	-9,886,438
経常費用			0
I 認定試験費用	629,000	506,672	-122,328
II 事業費	28,879,680	20,483,518	-8,396,162
1)養成講座	5,831,680	4,295,703	-1,535,977
3)実技指導者育成費用	145,000	38,546	-106,454
4)キャリア講座	4,839,000	3,878,288	-960,712
5)シニア講座	298,000	2,173	-295,827
6)会員研修・講座	1,122,000	548,940	-573,060
7)普及事業	14,146,000	8,995,053	-5,150,947
8)相談事業	2,498,000	2,724,815	226,815
III 広報費	134,000	28,411	-105,589
①会報発行費	34,000	0	-34,000
②広報宣伝費	100,000	28,411	-71,589
事業費用合計	29,642,680	21,018,601	-8,624,079
IV 管理費			0
1)総会関係費	255,000	238,637	-16,363
2)役員会議費	1,890,000	1,938,955	48,955
3)一般管理費(支部事務所経費)	16,207,640	16,281,487	73,847
管理費計	18,352,640	18,459,079	106,439
経常費用合計 B	47,995,320	39,477,680	-8,517,640
当期経常増減額 C(A-B)	5,248,400	3,879,602	-1,368,798

監査報告について

令和 6 年度 (令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日) の会計について、
令和 7 年 4 月 16 日に監査を実施いたしました。

その結果、会計帳簿及び関係書類は適正に処理されていることを認めましたので、
報告いたします。

令和 7 年 4 月 16 日

会計監査監事

十川 秀逸 

一般社団法人日本産業カウンセラー協会
北海道支部 支部長 林 美幸 様

<2025年度 事業計画>

・2024年度に引き続き、協会全体の財務基盤の安定と強化を図るべく、事業収支を意識した支部運営を展開する。特に2025年度は、組織強化費(2024年度実績:約500万円)が無い状態で、黒字を維持する必要がある、収益の確保と業務の効率化により、いかに利益を保持するかが喫緊の課題となっている。

・すべての活動の入口である「産業カウンセラー、キャリアコンサルタントの養成」の受講者増は必須であり、各講座の講師・指導者はもとより、支部認定講師・カウンセラーが信頼され魅力的であることが認知度にも繋がることから、産業カウンセラーであることに自信を持ち、会員組織であることの強みを最大限に活かした組織の成長を目指す。

・多様化する社会のニーズに応えるためにも、主体的に学び続ける事が会員一人一人のモチベーションとなるよう北海道支部独自の育成システムによる育成・研鑽・実践のサイクルの維持と、新たな視点の融合を検討する。

2025年度予算

科 目	2025年度予算(A)	2024年度予算(B)	増減(A)-(B)
経常収益			
I 受取会費	2,020,000	2,020,000	0
1)個人会費還付金	1,370,000	1,370,000	0
2)賛助会費還付金	650,000	650,000	0
II 認定試験受験料等収益	629,000	629,000	0
III 事業収益	41,099,320	45,544,720	-4,445,400
1)養成講座収益	12,211,560	10,588,020	1,623,540
2)実技指導者育成収益	231,760	160,000	71,760
3)キャリア講座収益	6,939,200	7,945,800	-1,006,600
4)シニアコース講座収益	417,000	417,000	0
5)会員研修・講座収益	1,108,800	1,164,900	-56,100
6)普及事業収益	17,460,000	22,759,000	-5,299,000
7)相談事業収益	2,731,000	2,510,000	221,000
IV 雑収益	10,000	10,000	0
1)受取利息	0	0	0
2)雑収益	10,000	10,000	0
V 組織強化費収益	100,000	5,040,000	-4,940,000
1)事務長給与補助収益	0	2,400,000	-2,400,000
2)事務員補助収益	0	1,440,000	-1,440,000
3)社会保険補助収益	0	900,000	-900,000
4)その他	100,000	300,000	-200,000
経常収益合計 A	43,858,320	53,243,720	-9,385,400
経常費用			
I 認定試験費用	629,000	629,000	0
II 事業費	23,967,590	28,879,680	-4,912,090
1)養成講座	5,875,560	5,831,680	43,880
2)実技指導者育成費用	205,000	145,000	60,000
3)キャリア講座	4,513,030	4,839,000	-325,970
4)シニア講座	298,000	298,000	0
5)会員研修・講座	736,000	1,122,000	-386,000
6)普及事業	9,771,000	14,146,000	-4,375,000
7)相談事業	2,569,000	2,498,000	71,000
III 広報費	84,000	134,000	-50,000
1)会報発行費	34,000	34,000	0
2)広報宣伝費	50,000	100,000	-50,000
事業費用合計	24,680,590	29,642,680	-4,962,090
IV 管理費			
1)総会関係費	282,000	255,000	27,000
2)役員会議費	2,234,900	1,890,000	344,900
3)一般管理費(支部事務所経費)	16,518,697	16,207,640	311,057
管理費計	19,035,597	18,352,640	682,957
経常費用合計 B	43,716,187	47,995,320	-4,279,133
当期経常増減額 C(A-B)	142,133	5,248,400	-5,106,267

養成講座部

2024年度実績

単位(千)円

※指導者育成含む

収益予算	10,748	費用予算	5,977	利益予算	4,771
収益実績	6,805	費用実績	4,334	利益実績	2,471
予算比	63.3%	予算比	72.5%	予算比	51.8%
収益前年	10,863	費用前年	6,592	利益前年	4,271
前年比	62.6%	前年比	65.7%	前年比	57.9%

2024年度活動実績

- ・春開講6か月コース 7名
- ・北海道医療大学教室:5名、札幌学院大教室:5名 2024年10月修了
- ・2024年度冬開講10か月コース 土・日:11名、2025年1月開講(水曜夜間教室受講者が集まらず募集を中止)
- ・体験講座&説明会 冬開講10か月コース対象 8回
- ・体験講座&説明会 春開講6か月コース対象 12回
- ・実技指導者向けの職能別研修・支部共通研修等を実施し、指導者の研鑽を図った。

課題等

- ・産業カウンセラーの認知度をどう高め、養成講座に興味をもっていたか(永遠のテーマ)。
- ・養成講座受講者確保の課題はあるも、心の体験をとおして必要性を理解してもらえるものである。
- ・受講者確保の為、体験講座や説明会は一定の効果が見込めるため、参加者を増やす工夫の検討。
- ・学校や企業等への出前講座の実施の働きかけを行い、すそ野を広げる。

2025年度予算

単位(千)円

※指導者育成含む

収益	12,443	費用	6,081	利益	6,362
前年実績比	182.9%	前年実績比	140.3%	前年実績比	257.5%

2025年度活動方針

- ・受講者のニーズに合った養成講座の教室運営ができるよう、改善点を洗い出し、改善策を検討し、より良い講座運営に努める。(受講者は、春6か月14名、医療大教室3名は春6と合同開催、札幌学院大教室は最低催行人数を満たせず開催中止)
- ・体験講座&説明会を積極的に開催し、産業カウンセラーの認知度を高め、講座の一部を体験していただくことで講座の良さを知っていただき、受講者の掘り起こしに努める。また有効な広告媒体の検討と活用を進める。
- ・実技指導修習生を育成するとともに、実技指導者の研修を実施し、実技指導者のスキル向上に努める。

その他

- ・学校や大学等での出前講座拡大に向けて、本部や関係部署と連携し対策を進める。

相談事業部(普及事業)

2024年度実績

単位(千)円

収益予算	15,200	費用予算	9,930	利益予算	5,270
収益実績	13,171	費用実績	6,159	利益実績	7,012
予算比	86.7%	予算比	62.0%	予算比	133.1%
収益前年	17,845	費用前年	9,361	利益前年	8,484
前年比	73.8%	前年比	65.8%	前年比	82.6%

2024年度活動実績

- ・企業等への訪問カウンセリングの実施
- ・支部相談室を利用したカウンセリングの新規契約
- ・全国規模での契約(本部・他支部契約)事業への対応
- ・世界自殺予防デーにあわせた全国無料電話相談への対応

課題等

- ・入札案件の価格競争化、および業務内容拡大による応札が困難な事案の増加
- ・企業・団体等からのニーズに対し、柔軟に活動できる支部認定カウンセラーの確保

2025年度予算

単位(千)円

収益	10,700	費用	6,640	利益	4,060
前年実績比	81.2%	前年実績比	107.8%	前年実績比	57.9%

2025年度活動方針

- ・事業推進(研修)との連携による総合的な支援体制の構築(研修⇄カウンセリング)
- ・体験カウンセリングから定期的なカウンセリング導入への働きかけにより継続的な支援
- ・常設の支部相談室・および電話相談の利用率を上げるべく、各部連携でのPR活動を働きかける。

その他

- ・支部認定カウンセラーが現場で抱える課題に対し、細やかなフォロー体制を整備する。
- ・各相談室の利用率を高めるための仕組みづくりや、周知方法など、担当カウンセラーと共に検討し実現化を目指す。

相談事業部

2024年度実績

単位(千)円

収益予算	2,510	費用予算	2,498	利益予算	12
収益実績	2,801	費用実績	2,725	利益実績	76
予算比	111.6%	予算比	109.1%	予算比	633.3%
収益前年	1,931	費用前年	2,687	利益前年	-756
前年比	145.1%	前年比	101.4%	前年比	—

2024年度活動実績

- ・支部認定カウンセラー育成研修・審査研修（新規認定 5名）
- ・支部認定カウンセラー研鑽研修（GSV、CST①、②、③、休日CST）の開催
- ・支部認定カウンセラー更新審査の実施（認定更新 16名）
- ・ロールプレイ録音会の実施（年4回）
- ・支部認定カウンセラー全体会議＆新認定カウンセラー向け説明会
- ・配置先別、業務説明会の実施

課題等

- ・道内全域をカバーできるカウンセラーの不足
- ・札幌近郊以外でも、継続的な研鑽が出来るようなしくみが必要
- ・研修サポート人材の不足

2025年度予算

単位(千)円

収益	2,731	費用	2,569	利益	162
前年実績比	97.5%	前年実績比	94.3%	前年実績比	213.2%

2025年度活動方針

- ・産業カウンセラーとしてあるべき姿の継承と、新しい時代に即した対応力を深める研修の実施
- ・個人の持つ能力とチーム力の強さを活かし、相互研鑽の場を拡充するための施策を検討する。
- ・研修の目的や意義、課題の共有化など、メンバー参加型の運営基盤を目指す。

その他

CC講座部

2024年度実績

単位(千)円

収益予算	7,946	費用予算	4,839	利益予算	3,107
収益実績	7,252	費用実績	3,878	利益実績	3,374
予算比	91.3%	予算比	80.1%	予算比	108.6%
収益前年	6,728	費用前年	4,508	利益前年	2,220
前年比	107.8%	前年比	86.0%	前年比	152.0%

2024年度活動実績

・CC養成講習(充足率 6割弱)

受講者 4月:6名 8月:8名 12月:6名 昨年よりもわずかに改善したが、ほぼ横這いであった。
12月のセミオンライン開講は定着。ただし、札幌近郊の受講者中心の受講者構成となっている。

・CC更新講習(充足率 5割弱)【延申込人数/定員 106/228】

技能講習は年間12回、定期開催の目標は達している。特に新規開講科目の受講者増が目立った。

・試験対策ほか

各期ごとに試験対策講座、模試を開催。対策講座は前年度を踏襲し、受講者の希望を聞き取り、日程を設定している。
GW中に講師、演習講師全員の集合による内部研修を行った(6h*2日)。

課題等

養成講習、更新講習の受講者数を安定的に底上げする必要がある。
更新講習の新規科目の申込が桁違いに好調だったが、新規科目を担当できる講師の育成が今後必要である。

2025年度予算

単位(千)円

収益	6,939	費用	4,513	利益	2,426
前年実績比	95.7%	前年実績比	116.4%	前年実績比	71.9%

2025年度活動方針

・CC養成講習:定期開催と定員の充足を礎とした安定的な開催を継続する

冬季のセミオンライン開催を活用し、道内遠隔地の需要に対応していく
対面開催

・CC更新講習:定期開催により、道内CCの質の担保に貢献する

定期開催を基本とし、道内在住の資格保持者へのサービスとCCの質向上に貢献する
更新講習はオンライン開催を織り交ぜ、道内遠隔地の需要に応えていく

・試験対策講座:養成講習受講者へのサポートを拡充させる

直近開催のみではなく、過去の受講者への開催告知も積極的に行っていく
受講生以外への広報活動についても策を検討していく

その他

・内部研修課題もあり、今期はCCの講師・演習講師全員が無料説明会を体験。全員の所感を集約し、今後に活かしたい。

広報部

2024年度実績

単位(千)円

収益予算	—	費用予算	134	—	—
収益実績	—	費用実績	28	—	—
予算比	—	予算比	20.9%	—	—
収益前年	—	費用前年	196	—	—
前年比	—	前年比	14.3%	—	—

2024年度活動実績

- ・JAICO記事編集と校正進行
- ・支部サイト情報更新業務

課題等

- ・すずらん発行に関する媒体選定や準備等

2025年度予算

単位(千)円

収益	—	費用	84	—	—
前年実績比	—	前年実績比	300.0%	—	—

2025年度活動方針

- ・JAICO記事編集と校正進行
- ・支部サイト更新業務
- ・すずらん発行に電子媒体での発行(準備・運用)

その他

会員研修部・シニア講座・会員部

2024年度実績

単位(千)円

※シニア講座含む

収益予算	1,582	費用予算	1,420	利益予算	162
収益実績	432	費用実績	549	利益実績	-117
予算比	27.3%	予算比	38.7%	予算比	—
収益前年	1,261	費用前年	1,062	利益前年	199
前年比	34.3%	前年比	51.7%	前年比	—

2024年度活動実績

- ・会員研修部)オンライン講座の継続開催(6講座開催確定)。
- ・会員研修部)聴き方教室の内容充実を図る(基礎・ステップアップ・トレーニングなど会員ニーズに合わせて開催)→NG
- ・会員部)2021年～2023年の同窓会傾聴トレーニングを実施予定。→学び方説明会2部の交流会として実施。
- ・会員部)北海道支部会員ブログ「産カン北海道」からの情報配信。(合計12回)
- ・会員部)「これからの学び方説明会」をオフライン&オンライン開催。

課題等

会員研修部)2023年はJAICOで道内の講師の掲載も後押しして、道外からの研修参加が増えたが、2024年度は道外が伸び振るわなかった。後半はJAICOのオンライン化によるものと考え、Jラボなどの活用も実施。

会員部)受講者が減少しているため、これからの学び方説明会の参加人数が減少。

今後、懇親会も含めて、幅広い皆さんが参加できるように変更する。

2025年度予算

単位(千)円

※シニア講座含む

収益	1,526	費用	1,034	利益	492
前年実績比	353.2%	前年実績比	188.3%	前年実績比	—

2025年度活動方針

- ・会員研修部)オンライン講座の継続開催(6講座開催確定)。+1講座を追加予定。
- ・会員研修部)指導者の皆さんの協力を仰いで、年間2～3回実施を予定。
- ・会員部)同窓会の在り方をコロナ禍を経て再度検討する。
- ・会員部)北海道支部会員ブログ「産カン北海道」からの情報配信。(合計10回以上)
- ・会員部)「これからの学び方説明会」をオンラインで全会員向けに実施を予定。

<シニア育成講座について>

2024年度報告 ・3科目の開催予定であったが、運営上の問題から2科目の募集を断念
 ・「逐語記録・事例報告の作成と検討(1期)」のみ企画・募集するも、最小履行人数に達せず中止
 <課題> 収支黒字が必須(受講者をいかに確保するか)、企画・運営スタッフの確保

2025年度計画 ・2024年度実施出来なかった3科目の企画・運営(受講ガイダンス・上記(1期)・(2期))

管理費(役員費・事務局)

2024年度実績

単位(千)円

収益予算	—	費用予算	18,353	—	—
収益実績	—	費用実績	18,459	—	—
予算比	—	予算比	100.6%	—	—
収益前年	—	費用前年	19,674	—	—
前年比	—	前年比	93.8%	—	—

2024年度活動実績

- ・管理費総額では、昨年対比93.8%とおおよそ122万円ほど削減となった。内訳として、職員給与(56万減)や役員の人数減による手当や通信費(14万減)、それに付随する法定福利費や旅費交通費といった人件費の部分が大きかった。
- ・本部との連携でHPやパソコン等のサポート窓口を一元化したことで、従来の委託先を解除し年間12万円ほど削減できた。
- ・郵便料金が値上がりした中、謝金明細等を手渡するなど工夫し、値上がりの中でもコスト削減(4万円減)に務めた。
- ・Pマークが2期目に入り、更なる個人情報保護の管理を徹底するために、Teamsのフォルダや書棚の整備を行った。

課題等

- ・幹部だけでなく各部員にもTeamsを積極的に活用して頂けるよう環境整備を行いたかったが、個人メールアドレスと協会付与アドレスの二重運用が改善できなかった。
- ・水道光熱費は前年比20万円増、一昨年と比較すると45万円増となっており、今後更なる費用増が懸念されるが、十分な対策を見いだせていない。

2025年度予算

単位(千)円

収益	—	費用	19,036	—	—
前年実績比	—	前年実績比	103.1%	—	—

2025年度活動方針

- ・円滑な支部運営のために運営幹部・運営協議員を増員し、より主体的・機能的に各部が活動できるベースを作る。
- ・前年度に引き続き、郵便料金等の値上がりへの対策として、紙資料の削減、HPの有効活用など検討していく。
- ・前年度に引き続き、コスト値上げ対策として残業時間や役員会議の時間を減らす為に効率よい作業を心がける。

その他

- ・水道光熱費の値上げの影響は会場費等の科目の値上げにも広く影響しているため、サービス価格の見直しなど支部事業全体の見直しを図るため、各部が必要とする情報を提供していく。

第1号議案

2025・2026年度（令和7・8年度）
支部運営幹部・運営協議員・監事改選候補者（案）

No	氏名	役割区分	担当	現職
1	林 美幸	支部長候補	支部長	支部長
2	立花 純子	運営幹部候補	副支部長・養成講座部長・事業推進副部長 兼務	副支部長・事業推進部長 兼務
3	北畠 里美	運営幹部候補	副支部長・CC講座部長 兼務	副支部長・CC講座部長 兼務
4	藤原 育	運営幹部候補	事務局長	事務局長
5	宮崎 洋一	運営幹部候補	事業推進部長	総務部長・事業推進副部長・相談事業部 兼務
6	宗原 薫	運営幹部候補	会員研修部長	会員部長・会員研修部長 兼務
7	加納 高士	運営幹部候補	広報部長	広報部長
8	下河原 梓	運営幹部候補	会員部長	会員部・会員研修部・広報部兼務
1	佐久間 千雅	運営協議員候補	総務部	総務部
2	永野 七奈	運営協議員候補	養成講座部副部長	養成講座部副部長
3	大塚 知子	運営協議員候補	養成講座部	養成講座部
4	大磯 隆	運営協議員候補	事業推進部	事業推進部
5	上野 江利子	運営協議員候補	相談事業部	相談事業部
6	米倉 美和子	運営協議員候補	CC講座部副部長	CC講座部副部長
7	大平 岳将	運営協議員候補	会員研修部副部長	会員研修部副部長
8	今井 昭司	運営協議員候補	会員部・会員研修部兼務	会員部・会員研修部・広報部兼務
9	岡本 弘子	運営協議員候補	相談事業部	会員部・会員研修部・広報部兼務
10	佐藤 桂司	運営協議員候補	広報部副部長	会員部・会員研修部・広報部兼務
11	八乙女 彩子	運営協議員候補	会員部・会員研修部兼務	会員部・会員研修部・広報部兼務
12	大庭 久美	運営協議員候補	CC講座部	<新任>
13	松浦 章子	運営協議員候補	会員部・会員研修部・広報部兼務	<新任>
14	野田 咲	運営協議員候補	相談事業部	<新任>
15	小山 雅仁	運営協議員候補	相談事業部	<新任>
No	氏名	役割区分	担当	現職
1	十川 秀逸	監事候補	監事	監事
2	藤原 真由美	監事候補	監事	監事

北海道支部 第三次中期3カ年計画（2023年～2025年）

支部理念

生きることと働くこと 豊かに生きる 豊かに働く

中期基本方針

- ①「人間尊重」の精神に立ち、北海道で働く人々とその組織に対して、協会本部や他支部との連携を密にしながら、産業カウンセリング等を通じて、心豊かに働ける環境を作り社会に貢献する。
- ②信頼し合う組織融和を重んじ、会員相互のつながりを強化し、研鑽できる仕組みづくりを支援する。

数値目標（注記：別途設定する）

年度	会員数	賛助会員数	収支(千円)
2022年度(実績)	671	12	2,170
2023年度(実績)	670	14	+2,418
2024年度(実績)	667	14	-709
2025年度	690	19	+1,000

※注記：会員数は微増でやむなしも賛助会員は心アド活用し確実に増やす、黒字は継続

重点目標

「魅力ある会員組織となる」ために本部、支部および部の枠を超えて課題を共有し連携して行動する！

1. 会員サービスの充実
(主旨) ニーズの把握と活動・学習の場の提供（地方都市部でのリモート等を活用した講座運営、勉強会や情報交換のグループ作り支援、シニア講座の拡大等）
2. 新規会員の獲得と定着
(主旨) 多彩な背景を持った個人・企業(潜在的検討層)に各種講座・交流会や支部事業等への参画を通し働きかけ、会員登録を実現し定着いただける施策の実施等
3. 運営幹部・指導者等を担う人材の確保と育成、レベルアップ
(主旨) 支部運営に欠かせない人材を確保し研鑽できる場と仕組みの提供、認定・更新制度の設定・見直しと個人の状況に応じた関係を継続できる仕組みの構築等
4. 収支の安定
(主旨) 黒字化の定着による人的・物的資産投資の土台作り、各部主催研修の統廃合と業務重の見直し・移管の検討、本部資産・情報の積極活用での費用圧縮等
5. IT化や本部連携等を通じた業務支援の推進
(主旨) 幹部・各部の業務遂行上の課題を把握し負担軽減につながる業務支援体制の構築、会員との交流会やSNS等を通じた直接・間接ネットワークの充実と迅速でオープンな情報の提供・共有・交換への取り組み等

以上

第3次中期計画 重点方針実行策 実施状況 1 / 2

重点目標 「魅力ある会員組織となる」ために本部、支部 および部の枠を超えて課題を共有し連携して行動する	主管部	年度別の状況 (○企画・準備、◎実施、未実施×、→継続)					
		2023		2024		2025	
		計画	結果	計画	結果	計画	結果
重点方針と実行策							
1. 会員サービスの充実							
① 会員研修講座内容の継続的な見直し	会員研修	◎	→	→	→	→	
② 札幌以外での研修機会の提供	会員研修	◎	→	→	→	→	
③ 出講機会をとおして社会的認知度をあげる	事業推進	◎	→	→	→	→	
④ 広報すずらんの内容充実とペーパーレス会員の普及	広報部	○	×	○	→	◎	
⑤ 広報すずらんのスマホ閲覧化と完全ペーパーレス化	広報部	○	×	○	→	◎	
⑥ 旭川・釧路・函館等地方都市における交流会開催	会員部	○	×	○	×	×	
⑦ 著名なカウンセラー（臨床心理士）などによるトークセッション	会員部	○	×	○	×	×	
⑧ CC更新講習の先行予約（新規）	CC	○	×	×	×	×	
⑨ 資格取得取得後のブラッシュアップ研修の実施	養成講座	○	→	○	○	→	
⑩ 自主学習会結成支援（ロープレ・逐語録音）	相談事業	◎	◎	→	→	→	
2. 新規会員獲得と定着							
① オンライン支部（仮称）を活用した情報交換	三役会	◎	×	○	×	○	
② 各出講先で傾聴効果を伝える取組み	事業推進	◎	→	→	→	→	
③ 公開講座の企画・実施	事業推進	○	×	○	×	×	
④ 養成講座・CC講習修了者の交流会（年次会等）開催	会員部	○	△	→	△	○	
⑤ 「これからの学び方」説明会（0-ドマップ説明会）開催	会員部	◎	◎	○	◎	◎	
⑥ CC養成講習/CC更新講習受講者への働きかけ（新規）	CC	○	→	→	◎	→	
3. 運営幹部・指導者等を担う人材の確保と育成、レベルアップ							
① 運営幹部と運営協議員との意見交換会の実施	三役会	◎	◎	→	→	→	
② 支部認定講師育成	事業推進	◎	→	→	◎	→	
③ 支部認定講師研鑽（品質向上が収支安定へ）	事業推進	◎	→	→	→	→	
④ 部内研修による講師研鑽の場の企画（継続）	CC	◎	→	→	◎	→	
⑤ キャリアインターンのリクルート育成（継続）	CC	○	→	→	×	○	
⑥ 実技指導者修習生の確保並びに育成	養成講座	◎	○	→	×	○	
⑦ 実技指導者のスキルアップ研修の実施	養成講座	◎	◎	◎	◎	◎	
⑧ 支部認定カウンセラーの資質向上							
1) COの自律性向上支援（企画力アップ）	相談事業	○	◎	→	→	→	
2) 人材・資格等のデータベース化（新）		◎	◎	→	→	→	

第3次中期計画 重点方針実行策 実施状況 2 / 2

重点目標 「魅力ある会員組織となる」ために本部、支部 および部の枠を超えて課題を共有し連携して行動する	主管部	年度別の状況 (○企画・準備、◎実施、未実施×、→継続)					
		2023		2024		2025	
		計画	結果	計画	結果	計画	結果
重点方針と実行策							
4. 収支の安定							
①会員研修収益改善に向けた取り組みの検討・実施	会員研修	○	○	○	○	○	
②各部主催研修の統廃合	会員研修	○	△	○	○	○	
③定期的なCC養成／更新講習の開催（継続）	CC	◎	◎	→	◎	→	
④受講者の安定的確保							
1) 体験講座＆説明会の定期開催	養成講座	◎	◎	◎	◎	◎	
2) 養成講座の教室編成の見直しを図る		○	→	○	→	○	
3) 募集時の告知方法の検討・実施		◎	◎	◎	◎	◎	
⑤資格取得後ブラッシュアップ研修実施の検討・実施	養成講座	◎	→	◎	→	◎	
⑥産業カウンセラー試験対策講座実施の検討	養成講座	○	→	○	→	○	
⑦企業での体験カウンセリング拡大	相談事業	○	○	→	◎	→	
⑧費用縮減努力(IT活用による会議費、交通費等含む)	支部全体	◎	◎	→	→	→	
5. IT化や本部連携等を通じた業務支援の推進							
①情報の相互交換への定着	事業推進	◎	→	→	→	→	
②HP/SNSの多様化と情報迅速化	広報部	○	×	○	→	◎	
③支部ホームページ改修とスマホ閲覧（レスポンスィブ化）※予算確保次第	広報・各部共通	◎	◎	→	→	→	
④ブログ「産カン北海道」による情報発信とその活用	会員部	◎	◎	→	○	○	
⑤CO育成研修のWeb提供（遠隔地受講のシステム化）	相談事業	◎	◎	→	→	→	
⑥Web会議システム活用カウンセリング模索（新）	相談事業	◎	◎	→	→	→	